

## 地下鉄南北線の新型車両3000系が 「2024年度グッドデザイン賞」を受賞しました

このたび、地下鉄南北線の新型車両3000系が「2024グッドデザイン賞」を受賞しました。

3000系車両は、無塗装化による環境負荷の低減、車いす・ベビーカースペース増備や車両の低床化によるホームとの段差縮小等のバリアフリー施策拡充に加え、先代1000N系車両を継承した造形、「杜の都」仙台に馴染む色や柄を採用しています。皆さまに永く愛される車両となることを期待しています。



**GOOD  
DESIGN  
AWARD  
2024**

1 車両概要 別紙のとおり

2 受賞者

仙台市交通局・株式会社日立製作所（車体製造メーカー）

3 受賞理由（審査委員会のコメント）

公共性が極めて高い地下鉄においては、奇をてらうのではなく、まちに如何に馴染むかが重要であり、不特定多数の乗客の安全と快適さが重要となる。杜の都、仙台の新しい地下鉄車両は、ケヤキ並木をイメージしたシート・ファブリックと爽やかな木目調の仕切り板により、明るさの中にも静謐さが漂う内装デザインとなっている。ホームと車両の段差が小さくなり、ペアガラスの採用により静音性が向上したことで、乗客の安全性と快適性の向上にも寄与している。

### ※グッドデザイン賞

公益財団法人日本デザイン振興会が主催する、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みであり、1957年の設立以来、約60年にわたり「よいデザイン」を顕彰し続けている。

## 地下鉄南北線 新型車両 3000 系の概要

### 1. 車両デザイン

外装デザインについては、市民の皆さまの投票を実施し、3つの案の中から「南北線車両からの進化」をイメージしたデザインに令和3年5月に決定しました。



デザイン画



実際の車両

インテリアは全体的にホワイト系でまとめ、グリーン系を加えて仕上げることで、すっきりと洗練された飽きのこないデザインにしています。



デザイン画



実際の車両

### 2. 主な特徴

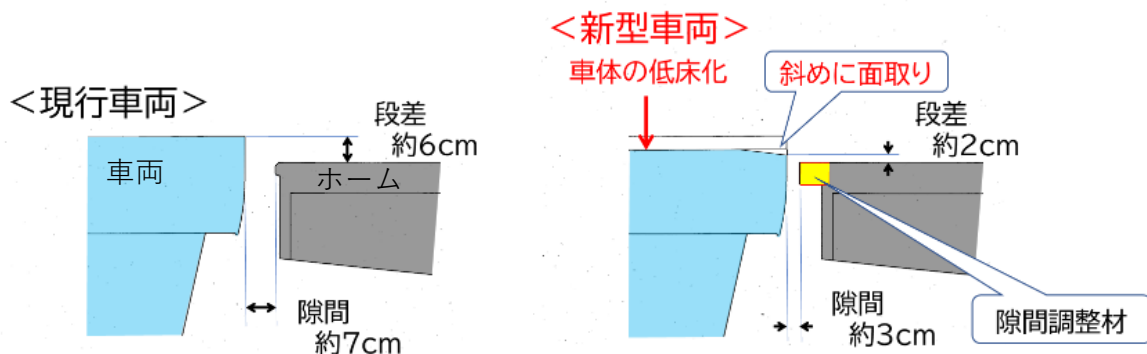
#### (1) 安全性の向上

- ・ドアが閉まる時に人が挟まると動作を止める電気式の戸閉装置を導入
- ・車内セキュリティを向上するため、各車両に4台の防犯カメラを設置



## (2) 快適性の向上

- ・車両の低床化によりホームとの段差を縮小  
(最大段差約6cm→約3cm さらに出入口部は斜めに面取りを行い実質約2cm)



新型車両におけるホームと床面

- ・より快適な車内環境とするため、冷房能力を1.5倍に向上
- ・静かな車内を提供するため、車体にアルミ二重構造とペアガラス窓を採用



- これまでLED ドット表示としていた案内表示器を、カラー液晶式にすることで、案内情報を充実（なお、障がい者団体との意見交換会での要望により、行き先部分は黒地に白字を採用）



【現行車両 LED ドット表示】



【新型車両 液晶式】

- 車いす・ベビーカースペースを増設し各車両に1カ所設置。また、このスペースの手すりには、ちょっとした腰かけが出来るようにクッションを設置



- 座席の間にある縦手すりを増設（6人掛け座席の間に1→2本 4人掛け座席は3人掛けとなり0→1本）

### (3) 環境負荷の低減

- ・省エネ化と保守の省力化のため、高効率・密閉型のモーターを採用



- ・モーターの制御装置に省エネ機器を採用
- ・環境負荷低減と軽量化を目的に、無塗装の車体を採用



### 3. 導入までの経過と今後のスケジュール

令和2年	3月	製造請負契約を締結
令和3年	3月	車両デザイン投票を実施
	5月	投票結果から車両デザインを決定
	11月	バリアフリー設備について障がい者団体と意見交換会
令和5年	9月	富沢車両基地へ搬入 基地内での試験・調整開始
	10月	富沢車両基地にてお披露目
	11月	営業終了後の営業線で走行試験を開始
令和6年	2月	営業線での通常ダイヤの合間に走行試験を開始
	7月	運転士の運転訓練を開始
	10月	出発式・営業運転開始
令和7～12年度		各年度2～5編成を順次導入